

イラストレーション・ポートフォリオ集

Portfolio

「光」がテーマの鍵

光に魅了されて。

1. 自己紹介
2. キャラクターイラスト
3. 背景を含むイラスト
4. デフォルメ
5. 最後に

キャラ、背景、
デフォルメも



PROFILE

はじめまして。森川真菜美と申します。
兵庫県に在住し、普段はデザインや広告運用・
WEBの保守管理の仕事をしています。
愛媛大学に3年間在籍した後、京都芸術大学通
信課程に編入し、このたび卒業課題としてこちらの
ポートフォリオを制作いたしました。
温かみのあるイラストをよく描きます。最近は一
筆のペン画が好きで、デジタルでもその質感
が出るよう模索しています。
中でも「光」を感じるイラストが好きなので、今回
は光をテーマとした作品を集めました。

CAREER

2018年4月 兵庫県立宝塚北高等学校 入学
2021年3月 // 卒業
2021年4月 愛媛大学 社会共創学部環境デザイン学科 入学
2024年3月 // 中退
2024年4月 京都芸術大学通信課程 編入
2024年12月 WEBデザインを独学で学び、デザインや広告運用・
WEBの保守管理の仕事に就く。



PORTFOLIO

01.自己紹介

02. 目次

キャラクターイラスト

03.光に向かって①

04.光に向かって②

05.戦い①

06.戦い②

07.暗闇の中で

08.退屈

背景を含むイラスト

09.帰り道①

10.帰り道②

11.放課後①

12.放課後②

デフォルメイラスト

13.水たまり①

14.水たまり②

15.最後に

使用ツール

Procreate、Figma、illustrator、Photoshop



光に向かって

2024.7 Procreate



point

こちらは京都芸術大学「イラストレーション演習 I-1 メインビジュアル」の授業で作成いたしました。もともとは左記のような昼光色で作成していましたが、もっとドラマチックな演出にしたいということで「夕陽」に照らされているような色のトーンに変更しました。

1点をみつめそれに向かって手を伸ばすことで、その方向にイラストの女性の希望があるように描きました。

線画は箇所によって光を演出できるように一部の色を変えたり消したりしています。
髪の毛は毛を一本一本描くというより束感を意識し、塊でうならせるようにしています。
女性の衣装は腹部は露出していますが首を詰めており、露出のバランスを整えています。
白を基調とし、希望を感じるような配色にしています。



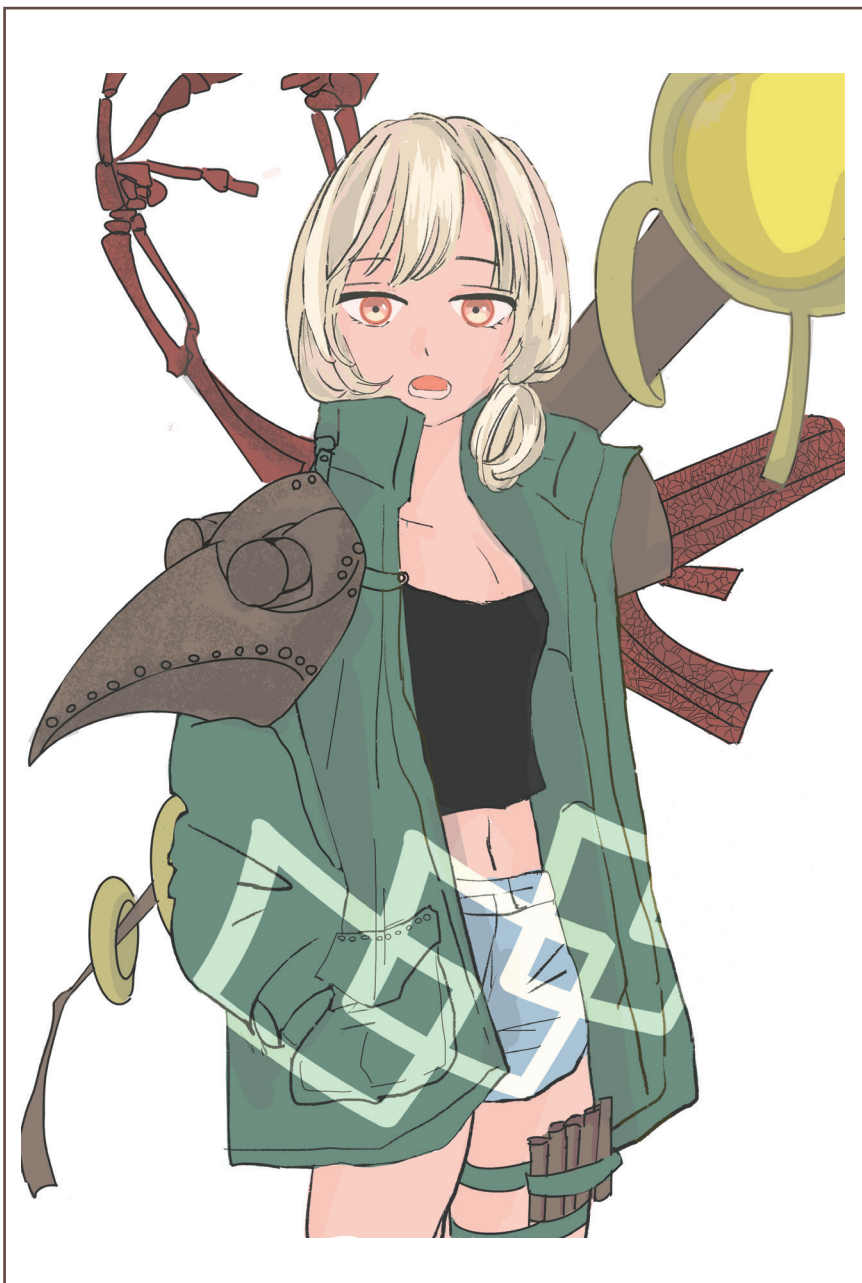
戦い

2024.8 Procreate



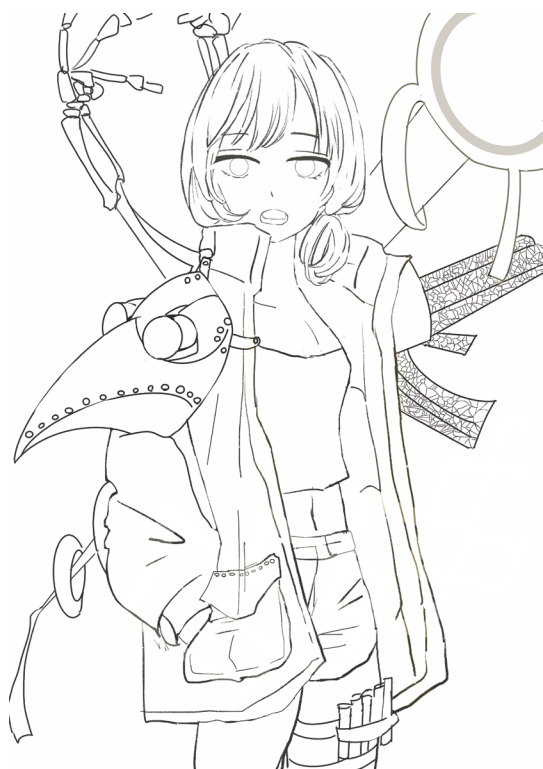
point

こちらは京都芸術大学「イラストレーション演習1-2 キャリア論」の授業で作成いたしました。こちらのイラストも、もともと下書きは左記のような昼光色で作成していましたが、右側の武器から光が差しているように演出したく、色のトーンを落とし光が際立つようにしました。武器やマスクをたくさん身に着け、誰かに語り掛けているような場面を切り取ることで、戦いの前の場面であるように演出しました。



このイラストではミリペンで線画を描き、アナログのような質感を大切にしました。線画を細かく描き、塗りよりも線画を主役としています。武器はとにかくカッコよさを優先しミリタリー感を大切にしました。

塗りではシンプルなベタ塗りの上に服に映る光や、右上から差し込む光で絵の奥行きを演出しました。



暗闇の中で

2024.8 Procreate



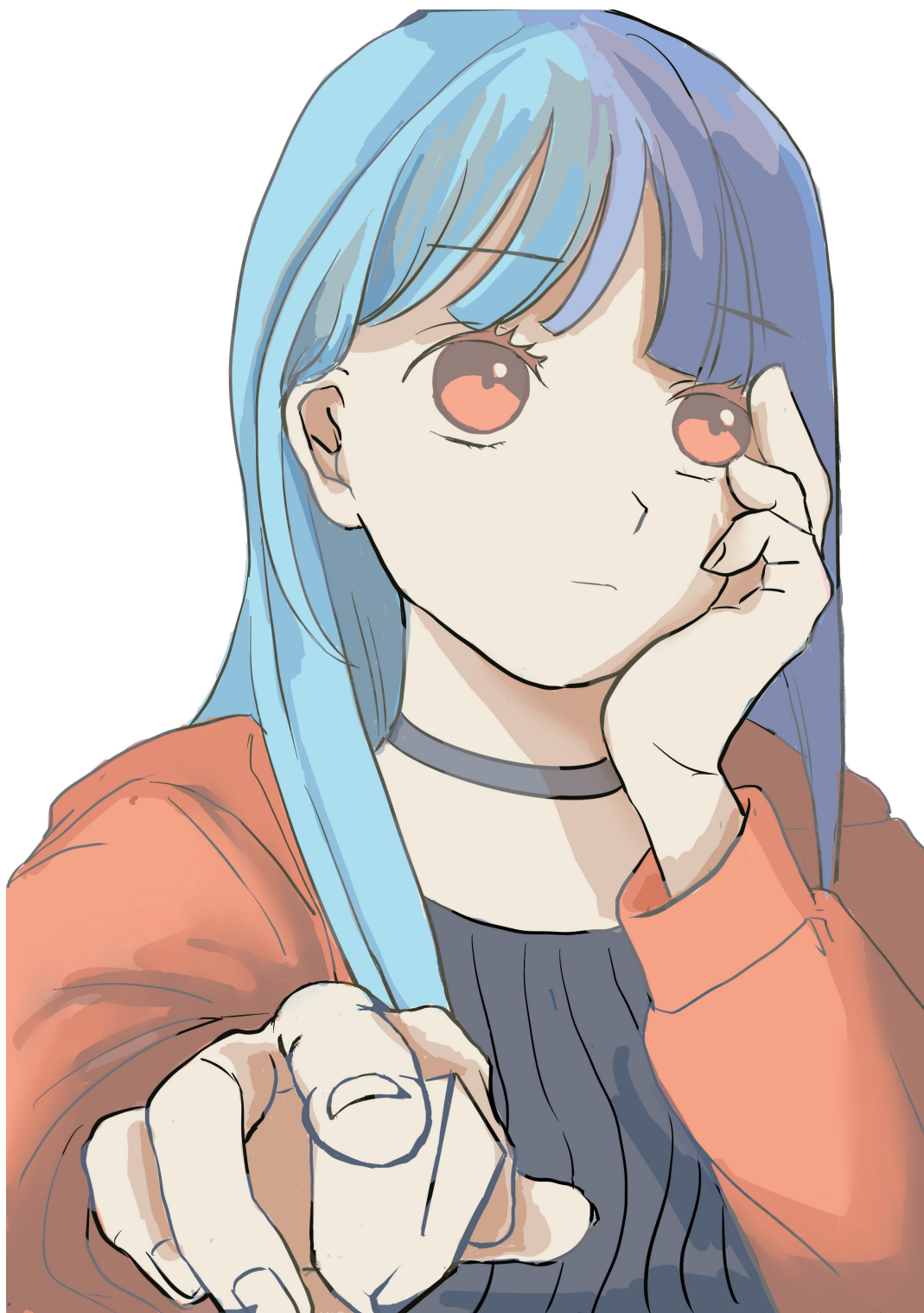
こちらのイラストは厚塗りを意識して作成致しました。

線画は最小限にし、髪の毛の流れは線ではなく光と影で表現しました。

背景は有りませんが、女性にかかる影で彼女がいる場所が暗いことを表現しました。また、髪の毛と瞳の中の光で、どちらから光がさしているのかを表現しました。立体感と光を意識して作成いたしました。

退屈

2024.5 Procreate



こちらのイラストは全体をペールトーンでまとめました。

将棋を差す瞬間を描いたもので、イラストの女性にとっては勝ちが確定している「退屈」な勝負です。その退屈という負の感情を、あえて優しい色調で纏めて描きました。また、影にはにごりのある色を使い、プラスとマイナスの感情どちらも表せるように演出しました。

帰り道

2024.5 Procreate



point

こちらは京都芸術大学「イラストレーションⅠ-3 色彩基礎」の授業で作成いたしました。

ベージュトーンで作ろうと決め、線画は最小限にして色を重ねて作成を進めました。道路は青緑色で塗り、空と対比させました。ですが、コントラストは弱め、全体的に柔らかい色遣いでまとめました。その静かさが何か不気味な雰囲気演出しています。

イラストの女性は制服を着用しており、学生の帰り道を描いています。線路沿いの道路は白線がずっと続いています。通常であれば短いはずの横断歩道がずっと続いていることで、行先は現実とは違うところであることを示唆しています。女性は柔らかに微笑み、静かに手を差し伸べるだけで、手を取るかの決定権はこちらにあるような気がしますが、景色や女性からは有無を言わさないような迫力を覚めます。なぜか不気味だと鑑賞者に感じてもらえるよう、絵を作成しました。



放課後

2024.9 Procreate



point

こちらは京都芸術大学「イラストレーション III-3 背景画」の授業で作成いたしました。学校をテーマに描こうと決め、何がいいか考えたところ、私の母校では廊下に机や黒板があり、勉強することができたのでその風景を描くことにしました。受験が近づくにつれ、放課後の廊下の雰囲気が変わっていきました。特殊な光景ですが、夕焼けに照らされた受験生たちの風景は私の青春の思い出です。



もっと深いトーンでも試作しましたが、セピア感が強く出すぎてしまうのと、緊張感だけでない柔らかさも表現したかったので、表題の柔らかいトーンに決定しました。



水たまり 2025.12 Procreate



point

こちらは京都芸術大学卒業制作（イラストレーション）の授業で作成いたしました。
私は卒業制作でオリジナルイラストを使用したポートフォリオ WEB サイトを作ろうと思い、メインビジュアルやポイントイラストに使用するためこれらのイラストを書き下ろしました。

小人たちは水たまりをみつけ「なんだろう」と疑問を持ち覗き込みます。彼らは言葉を話しません、みんなが同じ疑問を持ち、なんとなく集まった、そんな緩い雰囲気を描いています。作成したサイトは小人たちの優しい雰囲気を活かせるように淡い水色でまとめています。このイラストやサイトを閲覧していただいた人たちに暖かい気持ちになってもらいたいという気持ちで作成いたしました。

小人たち



Thank you !

